

先輩職員の声



消防署 救急隊所属

平成30年度入庁

Q 消防士を志した理由を教えてください

子供のころから公安系職種への憧れがあり、進路を決める際に救急救命士という資格があることを知りました。消防士として活躍する救急救命士のことを知るほどに憧れから、目標へと変わっていきました。また、消防士は公安系職種の中でも、女性職員の割合が低いことを知り、そのような環境の中で活躍する女性の一人になりたいと思い、消防士を目指しました。

Q 現在の業務内容を教えてください

専属救急隊として、救急業務に従事しています。救急出動では機関員として、救急車を運転しています。また、救急出動だけでなく、予防業務や、救急講習など、業務内容は多岐にわたりますが、仕事にはとてもやりがいを感じています。市民の皆さんの安心・安全を守るため、日々業務にあたっています。

Q 入庁してから一番苦労したことや大変だと感じたことはなんですか

消防士は体力のいる仕事だということは入庁前から知っていましたが、長年運動部だったこともあり、訓練にもついていけると思っていたのですが、男性職員と比べるとどうしても体力的に劣る部分を感じてしまうことが多く、大変でした。

しかし、元来の負けず嫌いな性格もあり、諦めずに男性職員と訓練をすることで、少しずつ自信が持てるようになりました。

Q 入庁してからうれしかったことや、やりがいを感じたことはなんですか

救急現場で、市民の方から「女性がいてくれて安心した」と言ってもらえた時は、本当に嬉しく、この仕事をやってよかったと感じました。女性の傷病者が救急現場で感じている不安を少しでも和らげることができれば、女性救急隊員としてこれ以上に嬉しいことはありません。今後も、市民の皆様に寄り添える救急隊員を目指していきます。

Q これから消防士を目指す方へメッセージをお願いします

緊張感のある仕事だからこそ、職場の団結力はとても強く、やりがいがあります。警防業務、救急業務、予防業務など、消防士といってもいろいろな業務内容があります。その中で、是非、自分がなりたい消防士の姿を見つけてください。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。